

風を感じて

北海道拓北養護学校
学校便り No.577
令和6年度 第4号
2024.7.26

一人一人のキャリア教育を考える

副校長 中川 雅人

1学期もあっという間に終わり、いよいよ夏本番を迎えます。私の幼稚園・小学校時代、道東は厚岸町の昆布漁師の家で育った夏の記憶は、昆布漁があったときの町中に広がる昆布の香りと、家業の手伝いと夕焼けの記憶です。我が家に限らずこの地域の漁師の子どもたちは否応なく幼少の頃から仕事（役割）が与えられていました。私の仕事は、石を敷き詰めた昆布干し場に並べた昆布の根を切って集める仕事です。幼いながらも、大人たちと一緒に汗を流し、時々褒められることで、役に立っているという気持ちになっていました。そうして一日の作業が終わる頃に見た夕焼けが40年以上たった今でも鮮やかに思い出されます。この経験は、感覚的に「働くこと」を自分にイメージさせていくことになりましたし、一次産業の家庭で過ごさなければ体験することが難しいということも後になって分かりました。

さて、「働くこと」のイメージはそれまでの生活経験等によって様々かと思いますが、では、本校の児童生徒の皆さんにとっての「働くこと」とはどのようなイメージを持たれているのでしょうか。厚生労働省がまとめた「障害者雇用の理念と現場」の「働くことの意義と職業リハビリテーション」の項によると【「働くこと」は～中略～他方で、「個人的な視点」は、収入を得る手段のみならず、むしろ、自分の能力や興味を発揮して、様々な心理的な満足を得る源泉であることに注目します。～略】とあります。この「様々な心理的な満足」を得るための手立て等を表し、関係者が共有するためのものが本校で取り組んでいる「個別の教育支援計画」で示しているものと考えられます。高等部生はもとより小学部児童も、現在の願いから「様々な心理的な満足」を得るための手段を保護者の皆様と共有して取り組ませていただいております。現在の願いが「アンパンマンになりたい」でも良いのです。まずは将来への夢・希望から出発して、「では、アンパンマンになるために、今、何が必要か」を、保護者や関係者の皆様と、今後もお話しさせていただき、児童生徒の将来を共に考えていきたいと思っております。ぜひ、引き続き御協力をお願いいたします。

明日から夏休みです。例年より今年は長く、**2学期の始業式は8月27日（火）**です。児童生徒の皆さんのお話が聞けることをとても楽しみにしています。



【お知らせ】 緊急連絡について

学校閉庁日には教職員は勤務しませんので、連絡等はこの期間外にお問い合わせいただくとともに、緊急連絡が必要な場合には次の連絡先までお願いします。

○学校閉庁日：令和6年8月13日（火）～16日（金）

*夏休み中の、土日、祝祭日に教職員の勤務はありません。

○緊急連絡先（事故等の緊急性が高い場合に学校へお知らせください）

メーリングリストアドレス

716622-kinkyu@ml.hokkaido-c.ed.jp



数字の1（いち）



小文字のl（エル）

個別の教育支援計画とは？個別の教育支援計画の活用とは？

キャリア支援部 高田昌樹

平成 21 年、全ての特別支援学校において、在籍する全ての幼児児童生徒に対して個別の教育支援計画を作成することが義務づけられました。「義務」とはやらなければならないという意味になります。そして、主体である本人・保護者の考えや願いを確認の上、担任（学校）が作成していくもの、すなわち、御家庭と学校で協力して作成していくものになります。では、「個別の教育支援計画とは何だろう・・・？」と疑問に思うかも知れません。

個別の教育支援計画とは

こども一人一人の教育的ニーズを把握し、乳幼児期から学校卒業後までの長期的な視点に立って、医療、保健、福祉労働等の関係機関と連携し、子どもに合わせた指導及び支援を行うための計画と定義されています。

個別の教育支援計画の活用とは？

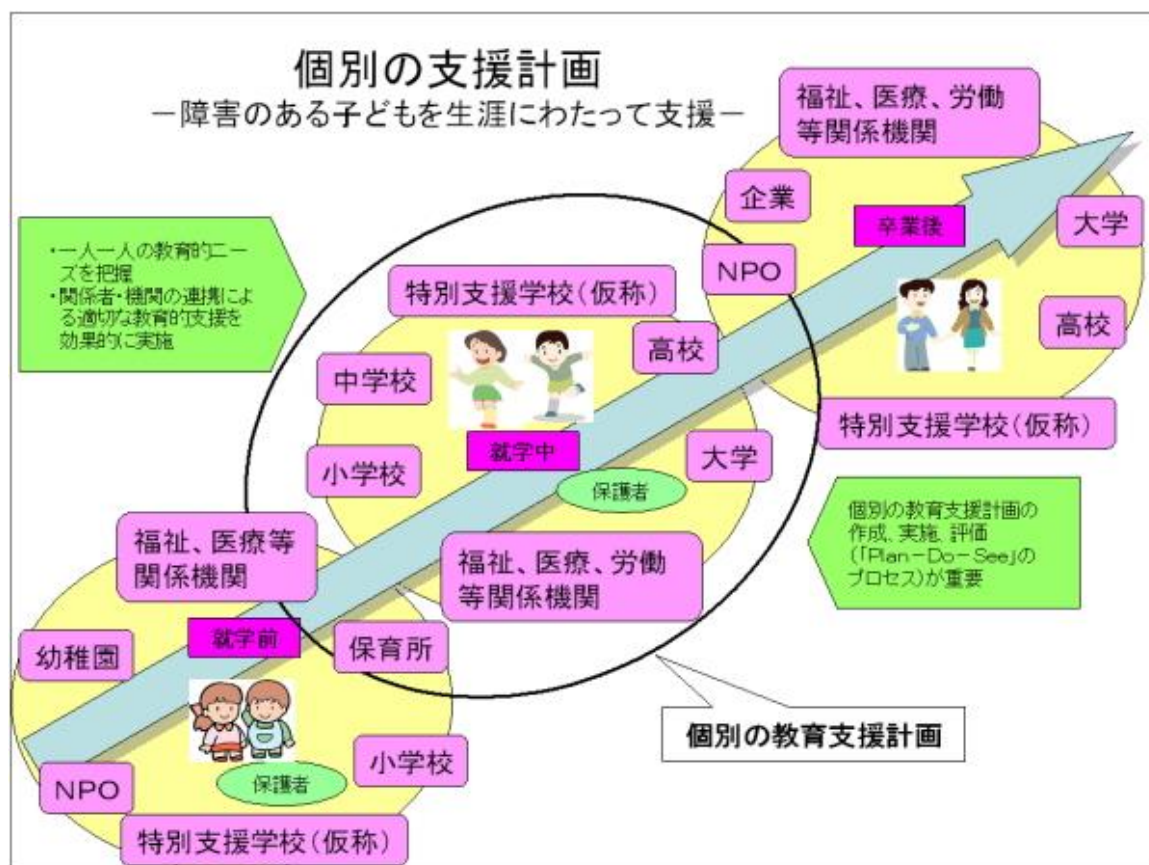
そして、個別の教育支援計画には次あげるメリットがあると言われています。

- 本人・保護者とともに作成することで、本人・保護者の願いをくんだ教育活動ができる。
- 子どもを取り巻く関係機関（教育・福祉・医療等）との連携がスムーズになる。
- 全職員で共有することで、全校体制で支援できる。
- 進学や転学の際に引き継ぐことで、連続性のある支援ができる。

具体例をひとつ上げます。

高等部の話になりますが卒業時に社会参加に向けて、就労先や利用している福祉関係の職員、保護者、本人が集まり、「移行支援会議」を行っています。その際、個別の教育支援計画を活用することによって、お子さんの実態や合理的配慮などの情報の共有をスムーズに伝えることができます。連携するための重要なツールになるのです。そして、社会人になってからでも活用する場面、必要とする場面が考えられます。

最後をお願いします。日々成長していくお子さんの姿とともに、個別の教育支援計画も、毎年、担任（学校）と更新が必要です。見直ししながら活用をすすめていきましょう。御協力をお願いします。



図にしたイメージ

文科省参照

～中学部 2 年生 宿泊研修の様子から～



中学部 2 年生
宿泊研修に行っ
てきました！

7月4日（木）～5日（金）の日程で宿泊研修に行ってきました。
今年は新札幌に宿泊し、3グループに分かれて青少年科学館やサ
ンピアザ水族館、地下鉄を利用して大通公園での研修をしてしまし
た。リニューアルした青少年科学館では、 -30°C の世界を体験したり、
地下鉄や札幌市の除雪車の疑似体験をしたり、ホテルでは、学
級や男子、女子に分かれてお楽しみ会を企画するなど、有意義な時
間を過ごすことができました。



サイエンスチーム



ピカッチチーム



ちかてつチーム

【中学部 2 年 木村】



2 学期始業式について

児童生徒が、夏休みの生活を振り返るとともに、2 学期の学習活動に期待をもつことを
主なねらいとして、2 学期の始業式を行います。

なお、当日は下校時刻が変更となりますので、御確認ください。

日 時

8 月 27 日（火） 10：00～10：20 全学部（体育館）

下校時刻 11：30～11：45（スクールバス発車）



【教務部】

